

令和元年度北海道天塩高等学校 学校関係者評価

評価項目 4: と思う(十分である) 3: ややと思う(概ね十分である) 2: あまりそう思わない(やや不十分である) 1: 思わない(不十分である)

達成狀況 A:3.26以上 B:2.51以上 C:1.76以上 D:1以上

自己評価の適切さ A:適切な評価である B:概ね適切な評価である C:やや不適切な評価である D:不適切な評価である

改善の方策の適切さ A:適切である B:概ね適切である C:やや不適切である D:不適切である

項目	評価項目	生徒	保護者	教員	達成状況	改善に向けた取組	自己評価の適切さ	改善の方策の適切さ
教科指導	1 学校ではわかりやすい授業を行い基礎学力の定着を図っている	3.0	3.0	3.5	B	・校内研修会などにより主体的・対話的で深い学びを推進し社会で求められる学力を身に付けるよう推進する。 ・基礎学力を定着させるためにも、朝学習や課題学習の指導の工夫改善を行う。 ・成績不振者や欠席が続いた生徒については、教科担任と連携し学年指導で対応する。 ・幅広い学力層の生徒に対応する学習指導について工夫改善を図る。	B	A
	2 学校では個人に応じたきめ細かい学習指導を行っている	2.7	2.9	3.2	B			
	3 学校では生徒の自己学習が習慣化する指導を行っている	2.8	2.8	2.8	B			
	4 学校では生徒の興味関心や進路希望に応じた選択科目が設定されている	3.2	2.9	3.3	B			
	5 学校では主体的・対話的で深い学びの視点に立ち授業の工夫・改善に努めている	2.9	2.9	3.0	B			
意見感想等 ・Classiの導入や公設民営塾との連携などの工夫に期待する。								
生徒指導	6 生徒を生徒会行事や部活動に意欲的に取り組ませている。	3.4	3.1	3.3	B	・規律ある生活を生徒が主体的にできるように、情報モラルや交通安全、いじめ対策、礼法、校内規則について、学校行事・生徒会行事にともない確認などして促進する。 ・生徒数が減っていることから、同好会を含めた部活動の在り方について検討していく。	A	A
	7 信頼関係に基づいた指導により生徒に規律ある生活を送らせている。	3.2	3.1	3.1	B			
	8 生徒や家庭との連携を密にした生徒指導体制がとられている。	2.8	3.1	3.4	B			
	9 いじめ対策が十分で安心できる学校である。	3.4	3.3	3.2	B			
意見感想等 ・天塩高校の魅力化を図るために、通学支援や部活動支援などの在り方について考えていきたい。								
進路指導	10 生徒に組織的・計画的な進路指導を行っている。	3.1	3.3	3.0	B	・学年と進路指導部の打合せを綿密に行い、進路指導の流れや約束事など保護者への情報提供の充実、自己推薦書等の生徒作成文書の指導体制の充実を図る。	A	A
	11 進路に関して家庭と連携のとれた指導を行っている。	3.1	3.2	3.2	B			
	12 生徒一人一人に望ましい職業観や勤労観を育成させている。	3.0	3.1	3.1	B			
意見感想等 ・高校の3年間だけで結果を出すのは難しい。小中学校で学力を向上させて、天塩高校に進学させる取り組みが必要と考える。								

保健	13	生徒に十分な健康・保健指導を行っている。	3.4	3.1	3.3	B	・教育相談の充実のために、スクールカウンセラーとの連携やアンケート調査の活用を継続的に実施していくとともに、教育相談スキル向上のための研修などを実施する。	A	A
	14	生徒に清掃活動等を通して環境美化の意識を育成させている。	3.3	3.2	3.7	B			
	15	教育相談が充実しており、生徒が相談しやすい体制である。	3.0	3.0	3.4	B			
	16	避難・防犯訓練等を通して生徒が安全な行動ができるよう育成している。	3.3	3.1	3.2	B			
	意見感想等 ・ソーシャルワーカーやスクールカウンセラーとの連携について、町の担当者としても推進していきたい。次年度以降、小中学校で実施している自殺防止に向けた取り組みを高校とも連携し実施したいと考えている。								
学校運営など	17	生徒・保護者・地域から信頼された学校である。	3.0	3.1	3.1	B	・中高大及び地域との連携を深め、地域から期待され必要とされる学校づくりを推進する。 ・総合的な学習の時間や講演会等で地域の方にご協力いただいているが、情報を収集し地域の資源や人材の活用の充実を図る。 ・遠隔システムを活用し、他校生徒との合同授業により多様な意見や考えに触れる。	B	A
	18	魅力のある学校づくりに取り組んでいる。	2.9	2.9	3.1	B			
	19	各種通信やHP等を活用して教育成果を発信している。	3.2	3.3	3.6	B			
	20	地域の資源や人材を活用した取り組みを行っている。	3.2	2.9	3.4	B			
	21	PTA活動が充実している。	3.1	3.2	3.7	B			
	22	遠隔授業への取り組みを十分行っている。	3.2	3.4	3.6	B			
	意見感想等 ・PTA役員という立場からの学校とのかかわりが中心でしたが、先生方には十分なコミュニケーションをとっていた だき、子どもの様子などがうかがうことができた。 ・複数の町から生徒が集まる学校なので難しいと思うが、保護者が積極的にかかわる環境を作り続けられるよう に地域から応援していきたいと思う。 ・管外からの通学ということで、高校の取り組みが見えないことも多いので、学校説明会も3年生だけでなく、1・2 年生にも参加をすすめてはと思う。								